

社内募金 605 万円を社会福祉団体など 11 団体に寄付

朝日生命保険相互会社（社長 佐藤 美樹）では、毎年 7 月に当社および関連会社役職員による全社的な募金活動（「朝日の月募金」と称しています）を実施しております。

さらに、当社の退職者で構成される「朝日生命社友クラブ」からも募金を募り、それらに会社からの拠出金を加えた総額 605 万円を、社内の選考委員による投票で選ばれた社会福祉などの分野で活躍する 11 団体（別紙参照）へ寄付し、役立てていただくことといたしました。

この「朝日の月募金」は、昭和 33 年、当社の創立月である 7 月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに、「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献する」という趣旨をもって開始し、今回で 53 回目という歴史を重ねております。

これまでの募金累計額は、約 3 億 4 百万円となりました。

【寄付先（団体名 50 音順）】

以下の 11 団体に対し、各々 55 万円ずつ寄付いたします。

学校法人 愛育学園愛育養護学校

財団法人 アイメイト協会

特定非営利活動法人 J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）

特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」

財団法人 障害児教育財団

夏目雅子ひまわり基金

財団法人 日本アイバンク協会

社団法人 日本自閉症協会

社会福祉法人 日本聴導犬協会

学校法人 日本聾話学校

以 上

[別紙]

平成22年度「朝日の月醸金」寄付団体一覧（団体名50音順）

学校法人 愛育学園 愛育養護学校

知的障がいをもつ子どもたちが、自信をもって自分らしく生きていけるようになることを目指し、一人ひとりの子どもと丁寧にかかわり、子どもの自由な心を育てるための教育を実践している。幼稚部と小学部のみからなる私立の養護学校はわが国唯一のもの。

財団法人 アイメイト協会

視覚障がい者が独立の精神を持って一般社会のなかで生活し、積極的な生き方が実現できるようアイメイト(盲導犬)による視覚障がい者の歩行指導および日常生活指導、歩行指導員の養成等の事業を展開。アイメイトとのペアは1000組を超える。

特定非営利活動法人 J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）

乳がんについての啓発と情報提供、マンモグラフィー検診の普及促進ならびに患者と家族のサポートなど、幅広い活動を行っている。乳がん啓発団体としては全国に先駆けてNPO法人認証を受けている。

特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

子ども虐待防止のための啓発活動を行っている全国組織で、児童虐待防止法等を考えるシンポジウム、虐待死の根絶を願うパレードや、虐待防止の象徴としてオレンジリボンを広める運動を実施している。

財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」

同財団は、児童館活動の支援、児童文化向上のための活動などを幅広く行っている。「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として「児童福祉文化賞」表彰などの支援を行っている。

財団法人 障害児教育財団

心身に障がいを持つ幼児・児童等のすべてが教育の機会に恵まれ、その能力・状態に応じた適切な教育を受け、社会に参加していく能力を得ることを目的に心身障がい児の教育に関する研究調査、教育相談等の事業を行っている。

夏目雅子ひまわり基金

がん・白血病治療の副作用による脱毛に悩む患者に無償でカツラを貸し出している。女優の故夏目雅子さんの遺志を継いだ遺族により設立され、その活動はマスコミにも大きく取り上げられている。

財団法人 日本アイバンク協会

角膜移植に関する研究の発展とその事業の促進に寄与することを目的に設立。角膜移植に関する事業の普及啓発、各地域でのアイバンクの業務の把握と指導などの援助を行っている。また、角膜移植の研究・教育に対する援助等の活動も行っている。

社団法人 日本自閉症協会

自閉症児をもつ家族を中心に専門医とボランティア市民が協力して会を運営している。電話相談・面接相談事業や自閉症に関する調査・研究、また療育キャンプ・研修会の実施等の活動を行っている。

社会福祉法人 日本聴導犬協会

聴導犬の育成を通じて、聴覚障がい者への理解と聴導犬の普及促進、および障がい者福祉の増進を図り、人と動物の共存共生のできる街づくりに寄与することを目的とした活動を行っている。

学校法人 日本聾話学校

聴覚障がい児の0歳からの早期教育と、先天性高度難聴の子どもに対する最新の補聴器や人工内耳を使った聴覚主導の教育を行っている日本で唯一の私立ろう学校。わが国のろう教育のパイオニア的な役割を担い続けている。

以上